

安藤と大差のない記牌。なんとか間に合うか。それとも倉田が速度を優先させた手に出るか。

倉田はこの配牌からまず切る。ここから二馬を雀頭に伸ばすのが、それとも速度優先か。八九を重ねたところで方針は決定。打点で速度優先。カシラ待てリーチ。

「出でてくるチャンスが訪れない。勝利を安藤に流さない継続がまだあるのか。」

倉田がトップ目になつた。安藤も1600点差。倉田がビシッとしたまま引き寄せた。1000オール。今度は倉田がトップ目にまわった。安藤と1600点差。

重命の食い流された：

一方、安藤はこの時点で、打点としたが、条件はツモアガリか倉田からの出アガリしかないが、安藤はそれに賭けた。

飯田は1巡目にドラの此を重ねて隕戦態勢。6巡目に中を即座に叩き、イースシャンテン。しかし、飯田もまた倉田以外か

と、こうなった。これは倉田のゲンブツだ。しかも、萩原、飯田はすでにオリにまわっていいる。この【四】は有利だ。も

はや局面は安藤に勝つよう流れているように見えた。萩原、飯田に都合よく倉田のツモ切りでゲンブツができる。オリに窮はない。

飯田は1巡目にドラの此を重ねて隕戦態勢。6巡目に中を即座に叩き、イースシャンテン。安藤が条件。安藤がポン。

飯田も此とまのシャンボンでテンパイを果たした。今度こそすんなり決まるか。それとも……。

飯田も此とまのシャンボンでテンパイを果たした。

Shoichi's 目

今回の最強戦は、麻雀の技術やうまさを超えていた。根拠著。

飯田、倉田、萩原の各選手は、自登録が高い芸能界の現場で、半端じゃない試練に耐えている。

普通の人比べて、構成力・集中力・周りからの抑圧・フレッシュに特別強い環境に生きていく。

それらは全て、麻雀に勝つための必要な要素である。それらを充分に持合せた者が、他の技術優先者を打ち負かして、決戦に上ってきたのだ。こんな人に間まれたら、ちょっとした巧者など、ひとたまりなく碎かれてしまう。それほど、この3人の種属性、前述意向はすごかった。

その中に、たった一人残った、出現者中最も抜きん出た絶対能力を持つ安藤選手。彼ものの3人の根拠者に一步も退かない精神力を見せて誇ってくれた。麻雀に対する能力、知識技術、そんな頭でつかうのものに頼らず、男としての闘争心を一



「毎牌の音ストーリーズ」で強力タッグを組んだみやわき心太郎先生(左)と。

「上位4人が並んばり、互に必死のバチを繰り出し続いた」

歩たりとも休まずして、卓上に4人が詰め入り、互いに必死のパン子を繰り出し続けた。崖っぷちの争いでもあった。誰一人体まず、逃げることなく、ひるまい。

萩原聖人選手は、決戦に到

るまで自分で卓上で踏んぱり続

け、己の力でケリを付ける闘

争心・覚悟がしばしば力を奏し

て、他方に頼らず、自分で打ち勝ち、道を拓いて勝つ姿勢を自ら貫き通して来た。

決戦戦に入つても、その気持

ちは一步も後退することなく東

場を開いて、南場の細番では

配牌で見えていた三色おら、一

通まで手を伸ばし、細満を相手

り切つてしまつた。

しかし、ここで萩原聖人の脳

裏に一瞬、勝利の喜酒がよき

たのだろうか。南3局、一ノ一

ンリーチをかけてしまう。だが、

この大ミスも、消極的な弱さか

ら起きたものではなく、若武者

の技術優先者が引きこじだら

ので、同じミスでも前向きさく

であつた。この状況の時、た

つて優勝を勝ち取つた。

見せて貰つてあります。

4人の根拠者よ、いい試合を

29900
△8000
△300
21600

20300
20300

28300
28300

21500
+8000
+300
23800

牌譜④

南4局1本場 ドラ

東倉田

南萩原

西安藤

北飯田

ここまで場が煮詰まつてしまつては倉田も動かざるを得ない。萩原が此を切るとポン。これに絞がついた。

倉田がツモ切りとなる。が

飯田は流れてしまったのだ。飯田がツモ切る。安藤は飯田から

はアガれない。ボンボンで難を逃れた倉田だが、次は此がこ

ちらに流れてきた。いずれ打つ牌だが、こでは打たない。安

藤にはまだチャンスは残つた。

さうこうして在るよに萩原も四暗刻のイースシャンテンにま

で手を育てていて。此とすべて一枚ずつヤマに残つた。

まだ私は後ろにいて観ていて何故か微笑んでしまつたのだ

しかし、ここに来て満貫手を

タタいてドラの此とまのバ

タタいて待ちを取れば、安藤選手

も此とまをタタいて、今日

には此とまという好形の和了

しかし、優勝まで1600点

足りない安藤選手は、倉田選手

から出和したりか、已れて

ハイ後、飯田選手から此が2

回落ちてくるが強者・安藤選

手は微動だにしない。卓上にヒ

ヨウのよくな続いた複線を落とすのみ。

そして、オーラストップであ

りながら、不条理にも親の跡行

を引かねばならない。テン

タタいて待ちを取れば、安藤選手

も此とまをタタいて、今日

には此とまという好形の和了

しかし、優勝まで1600点

足りない安藤選手は、倉田選手

から出和したりか、已れて

ハイ後、飯田選手から此が2

回落ちてくるが強者・安藤選

手は微動だにしない。卓上にヒ

ヨウのよくな続いた複線を落とすのみ。

たが一言、言わせてもらひます

は君は決勝戦日向のうち、1

局を残して完璧に打つていた。

他の者に出来ない、麻雀に対する意をえらみます。が、オーラスの10局目(南4局0点本場)

にたつた一度の字牌的第一打が

あつた。あそが本当の苦しみ

じろりだつたんだな。

安藤君がまた一年苦しめて

安藤君は決勝戦日向のうち、1